

平成27年度運行分系統別利用実態（公表シート） 様式2

系統名	河口湖線			事業者名	富士急山梨バス株式会社
路線の状況	起点	経由地	終点		
	河口湖	旭日丘	御殿場駅		
系統キロ程 (km)	35.9		輸送量 (人/日)	76.1	
平均乗車密度 (人/便)	6.4		運行回数 (回/日)	11.9	
公共・拠点施設状況	学校	御殿場西高校、須走小・中学校、山中湖小・中学校、富士吉田市立看護専門学校、日大セミナーハウス			
	病院	富士吉田市立病院、渡辺整形外科			
	商業施設	JA御殿場、キリンディスティラリー、ケースデンキ、JA須走、道の駅すばしり、ファナック、道の駅富士吉田、都留信用組合			
	その他	御殿場市立図書館、御殿場市民会館、須走支所、自衛隊富士学校、山中湖村役場、山中湖郵便局、自衛隊北富士駐屯地、上吉田コミュニティセンター、須走浅間神社、天恵、森の駅旭日丘、文学の森公園、忍野八海、さかな公園、忍野温泉、北口本宮富士浅間神社、富士急ハイランド			
収支率 (%) (収益/費用)	93.3		乗車人員 (人)	158,206	
乗換可能なアクセス拠点等	拠点3 バス停11	名称	拠点：JR御殿場駅、富士急行富士山駅、富士急行河口湖駅 バス停：湯沢、くみ沢、図書館前、須走浅間神社、山中湖旭日丘、山中湖村役場前、富士山山中湖、忍野入口、セメ草、横町、警察署前		
広域利用状況 (%) (他市町へ跨ぐ利用者の割合)	83.8				
増収策	<p>ア. リア解消のため、低床バスを積極導入した。 (大型超低床：5両、小型超低床8両※環境保全対応車3両含む)</p> <p>イ. 地域交通ネットワーク強化のため、路線再編を実施した。</p> <p>① 域内系統との乗継システム構築/機能の整理を行っていきため、また箱根エリアとの相互連携と沿線活性化を図るため、幹線バス・河口湖線の輸送力を強化した。 併せて、河口湖駅⇄忍野村内の直通移動を唯一補完できる系統として、包括系統（忍野村内経由）の設定増により、当該地域間の日中の利便性向上を図った。 (1時間間隔：18往復→30分ヘッド運行化：26往復運行) H27.4実施。</p> <p>② 河口湖線との連携強化のため、主要幹線と周遊バスの輸送力を強化した。 ・幹線バス、新富士・富士宮～河口湖線の増便（5往復→6往復） H26.12実施 ・幹線バス、甲府・石和～富士山駅線の増便（15往復→19往復） H27.4実施 ・河口湖周遊バス（20分ヘッド：27便→15分ヘッド：36便） H27.4実施 ・西湖周遊バス（1時間間隔：8便→30分ヘッド：16便） H27.4実施 ・富士山世界遺産ループバス（コースリニューアル/広域利便向上） H27.5実施 ・富士山五合目バリエーションバス（春・秋運行：5往復→7往復）</p> <p>ウ. 新規利用者の獲得のための取り組み推進。 ・バス利用案内戸別訪問の実施。（H26.11～継続実施）</p> <p>エ. 利用者に配慮した取り組み ① 地元ケーブルテレビ（CATV富士五湖）と、高速バス、鉄道と共に乗合バスのダイヤ情報（幹線バス、コミュニティバス）のデータ放送契約を結び当該情報発信を開始した。 H26.12～継続実施 ② 接客コンテスト開催による乗務員・窓口係員のスキル強化を図った。 ③ 富士登山バスの利用者に「富士登山下山間違え防止マップ（日・英）」を作製・配布した。</p> <p>オ. イベント等への積極参加・団体等へのセールス・PR活動 ① 山中湖村と地域興しイベントを連携開催（季節やお祭り開催時等）し、バス利用PR実施。 ※クリスマスでの開催内容：「ふじっ湖号（富士吉田・忍野・山中湖周遊線）」の運転士、バス車内などをクリスマス仕様にして実施/クリスマスも実施し、PRした。 ② 「やまなし公共交通フェスタ」に参加し、バス利用PR実施。H26.12実施。</p> <p>カ. H26山梨県リア解消促進事業において、インターネットによる時刻表・運賃検索システムを導入（山梨エリア：富士急行にて導入）。（段階的にグループエリア全域へ拡大）</p>				
費用削減策	<p>ア. 燃料、オイルその他修繕部品等、車両購入の購入に加え金額が多い備品等について、富士急グループ全体での一括仕入れ実施や比較購入の徹底を図りコスト削減を図る。</p> <p>イ. アイドリングストップ強化月間の実施や幹部職員による点呼など、乗務員・職員への声掛け、街頭監督による注意喚起により、費用削減を図った。</p> <p>ウ. ドライブレコーダ（H25年度内で全車搭載済み）を活用し、事故防止に役立てることなどで事故による修理費等の削減を図った。</p> <p>エ. 車両の更新により、燃費効率の向上と修繕費の削減を図った。</p>				
沿線市町のサポート	<p>【御殿場市】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成27年度策定予定の地域公共交通網形成計画において、広域的幹線として改めて位置付けを行い、公共交通に対する利用者意識の啓発と利用促進について目標と施策の設定を行う。 支線系統等の地域内交通ネットワークの新設・再編等を検討する場合において、幹線系統への乗り継ぎ・連携を考慮して検討を行う。 時刻表配布等の交通事業者の取り組みへの協力や、市広報紙やホームページ等の広報媒体の活用による公共交通の利用促進、啓発を実施する。 <p>【小山町】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成26年度に策定した金太郎公共交通計画において広域的幹線として位置づけている。 当路線の通過する須走地区において、ポケット時刻表、ダイヤ改正時の時刻表の全戸配布を事業者と協力して実施 高齢者の利用を促すため、路線バス高齢者定期券の購入費（3割）助成を実施 生活交通確保路線として、沿線商業施設との連携に取り組む。 高校生通学利用者の確保に取り組む。 今後も公共交通会議を中心に、町民・交通事業者・行政が一体となって協働による利用促進等を図り、地域交通の活性化に取り組む。 				
利用実態	<p>系統キロ程(km) 50 輸送量(人/日) 150</p> <p>平均乗車密度(人/便) 10</p> <p>運行回数(回/日) 30</p> <p>収支率(%) 100</p> <p>乗車人員(人) 300,000</p> <p>アクセス拠点(箇所) 20</p> <p>広域利用状況(%) 100</p>				

運行路線図 (第6号)

運行系統名	運行系統			
	起点	経過地	終点	キロ程
河口湖線	河口湖駅	膳棚、旭日丘	御殿場駅	37.9km

富士急山梨バス株式会社

【運行割合算定】※主系統
 ①河口湖駅～籠坂峠 20.51km
 ②籠坂峠～県境 0.77km
 ↓
 ①山梨県運行エリア =21.28km (56.1%)
 ②静岡県運行エリア =16.63km (43.9%)
 合計 37.91km

【主系統と異なる区間】
 ①忍野入口～梨ヶ原 3.60km
 計1区間
 ⇒10%以内かつ10km以内を適用する。

【設定系統】
 16-8 河口湖駅～膳棚～旭日丘～御殿場駅 **※主系統**
 37.91km
 16-6 河口湖駅～旭日丘～御殿場駅
 35.91km (主系統との差異2.00km 5.3%)

H27.4.6～「御殿場プレミアム・アウトレット」発着便は適用除外。

